

おもちゃの種類	エプロンシアター
内容	おおきなかぶ
写真 ・かぶ (横径 35cm・縦 62cm) ・おじいさん (19cm) ・おばあさん (19cm) ・むすめ (19cm) ・いぬ (18cm) ・ねこ (14cm) ・ねずみ (11cm)	
製作材料	フェルト・ひも・プリント木綿布・手芸綿・刺繍糸・クラフトパーツ (目)・ビーズ
対象者	1歳～6歳
割合	子ども 5～8名 対 おとな 1名
所要時間	2分～10分
遊びの理論的根拠	エプロンを用いた活動は <ul style="list-style-type: none"> ・色・図案や手芸的手法によって、オリジナルデザインの構成ができる。 ・時間・場所・ストーリーに変化をつけることができることから、対象者に合わせた遊びの段階づけができる。 ・ポケットから人形が出てくる不思議さや楽しさから、子どもの注意力・集中力を引き出すことができる。 ・人形劇以外の活動で、ことば・数・形・色の理解を促すことができる。 ・子どもが自分の経験や自分の感情を明確にしたり、説明をしたり、話し合うための伝達手段として人形を使用することができる。
保育の実際 (時間：30分)	<p>発達障碍の子どもは、時に色鉛筆の色は言えても、生活場面での色を理解していることに繋がらないことがあります。そこで12月の保育は、雪の色「白色」をテーマにしました。</p> <p>保育では、①色遊び歌 (赤・青・黄・緑・白など) ②エプロンシアター「おおきなかぶ」③飛び出すカード「白いもの、何だ？」13枚 (大根・白熊・ごはんなど) ④絵本の読み聞かせ：ロバート・サブダの「しろいふゆ」⑤飛び出すクリスマスカード作り (シール貼り) をしました。</p> <p>子どもたちは、色遊び歌では部屋中の色をよく見て、「以外なところ」の色を発見し、周囲から「おーすごい！いいお目目してるね～」と褒めてもらうことができました。白いもの何だ？カードでは、「モンシロチョウ」「しろつめくさ」などを知っている子どもが大勢いました。さすが物知り博士！</p> 

おもちゃの種類	手ぶくろシアター
内容	はらぺこあおむし
<p>写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 白色 手ぶくろ ・ (表) お月さま (裏) 太陽 ・ (表) 卵のついた葉っぱ (裏) 穴のあいた葉っぱ ・ (表) 太ったあおむし (裏) いもむし ・ 立体あおむし (2匹) ・ 蝶 ・ りんご (1個) ・ なし (2個) ・ すもも (3個) ・ いちご (4個) ・ オレンジ (5個) ・ チョコレートケーキ ・ アイスクリーム ・ ピクルス ・ チーズ ・ サラミ ・ キャンディー ・ さくらんぼパイ ・ ソーセージ ・ カップケーキ ・ すいか 	  <p>参考 : http://www.milk-box.com/handmade/hmade0010.htm</p>
製作材料	フェルト・プリント木綿布・手芸綿・刺繍糸・ビーズ
対象	1歳～6歳
割合	子ども5～8名 対 おとな 1名
予定時間	2分～10分
遊びの理論的根拠	<p>手ぶくろを用いた活動は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色・図案や手芸の手法によって、オリジナルデザインの構成ができる。 ・ 時間・場所・ストーリーに変化をつけることができることから、対象者に合わせた段階づけができる。 ・ ポケットから人形が出てくる不思議さや楽しさから、子どもの集中力を引き出すことができる。 ・ ことば (昼と夜、曜日、果物、お菓子) ・ 数 ・ 形 ・ 色の理解を促す。 ・ 子どもが自分の経験や自分の感情を明確にしたり、理解したことを説明したり、話し合うための伝達手段として、道具を使用することができる。 ・ 絵本とシアターの「同じ」が理解できる。
<p>保育の実際 (時間 : 30分)</p>	<p>「へんしん」をテーマに、①手遊び「にんじゃ」②手袋シアター「はらぺこあおむし」③「へんしんするいきもの」あてっこカードゲーム (写真参考) ④絵本「へんしんトンネル」(作:あきやまただし:金の星社) ⑤ちょうちょの紐通し、の展開で楽しく遊びました。</p> <p>*あてっこゲームは、7種類のカードを手描きで作製しました。内容は、ひよこからにわとり、ようちゅうから成虫 (かぶとむし、てんとうむし、蛍、とんぼなど) です。</p>  

おもちゃの種類	布製 おすし
内容	にぎりすし
写真 ・まぐろ ・いか ・サーモン ・えび ・たまご ・たこ ・ほたて ・いくら ・うに ・きゅうり巻き ・鉄火巻き	
製作材料	フェルト・手芸綿・刺繍糸・ビーズ・タオル（にぎり）
割合	子ども1名 対 おとな 1名
予定時間	3分～10分
遊びの理論的根拠	布製 おすしを用いた活動に参加することによって ・食材に関する知識、調理方法、食文化、食に関するマナーを知ることができる。 ・食材の性質（大きい・小さい／高い・低い／長い・短い／硬い・柔らかい／太い・細い）や数（個数・分割と集合・シャリと具材の1対1対応・順序）・色を学ぶ。 ・「いただきます」「ごちそうさま」の感謝の気持ちを育む。 ・「どうぞ」「ありがとう」のかかわりをつくりだすことができる。 ・微細運動（シャリを握る／具材をつまむ／のりを巻く）を促す。
保育の実際 （時間：30分）	「お弁当の中身が、毎日変わる」ことが納得できずにいた子どもがいました。そこで、「自分でお弁当を作る。大好きなプチプチ（いくら）弁当を作ってみよう」から、遊びを考えました。 テーマは「お寿司」です。 ①手遊び「おべんとうばこの歌」②海の生き物あてカードゲーム ③お寿司、知ってるかな？ ④折り紙・巻き紙（お寿司作り） 子どもは遊び体験から、「お弁当の中身は変わります」が、少しずつ納得できて、幼稚園でお弁当を食べることができるようになりました。 お友達との「お寿司屋さんごっこ」へも参加できました。

おもちゃの種類	ディ・ヴィッテ・エンジェル社（オランダ）の小さなお人形
内容	お人形
写真 <ul style="list-style-type: none"> ・小さなデイジー ・小さなスノードロップ ・小さなチェリー ・小さなスマレ ・小さなスイセン (大きさ 約 10 c m)	
対象	1歳～
割合	子ども 1名 対 おとな 1名
予定時間	2分 ～
遊びの理論的根拠	<p>お人形を用いた活動は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間・場所・ストーリーに変化をつけることができることから、対象者に合わせた段階づけができる。 ・お花から人形が出てくる不思議さや楽しさから、子どもの集中力を引き出すことができる。 ・人形劇以外の活動で、ことば・数・形・色の理解を促す教材にすることができる。 ・子どもが自分の経験や自分の感情を明確にしたり、説明をしたり、話し合うための伝達手段として人形を使用することができる。
遊び活動への応用	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育 ・お人形ごっこ
保育の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・「おやゆびひめ」のストーリーで、「チューリップのお花から生まれました」を、「スマレ」「スイセン」「スノードロップ」「さくら」「デイジー」と変えてお話をしました。子どものファンタジーの世界が、お話の始まりと同時に深く入っていく感じがしました。 ・ドールハウスの近くに置いておくと、「ぼくのお姫様」と言いながら、女兒よりも男児が遊びこむ姿がありました。
手づくりおもちゃの会	<p>本学の「手づくりおもちゃの会」で、小さなお人形を作りました。お母様が縫って作ったお人形に最初は全く関心を示さなかった子どもが、お母さんの頬紅をお人形の頬に注したところ、お人形は「子どもの宝物」になったそうです。お人形は、いつでも、どこへでも子どもと一緒にだそうです。</p>

おもちゃの種類	ボード シアター (両面)
内容	もりのおふろ (西村敏雄, もりのおふろ, 福音館書店, 2004年)
<p>写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もり (45cm×39cm) ・おふろ ・ライオン ・ぞう ・わに ・ぶた (3ひき) ・おおかみ ・ゴリラのおやこ ・かば ・ひつじ ・うま ・うさぎ ・ダンボール 	  
対象	1歳～6歳
割合	子ども5～8名 対 おとな 1名
予定時間	2分～10分
遊びの理論的根拠	<p>ボードシアターを用いた活動は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色・図案や手芸的手法によって、オリジナルデザインの構成ができる。 ・時間・場所・ストーリーに変化をつけることができることから、対象者に合わせた段階づけができる。 ・動物が次から次に森に出てくる不思議さや楽しさから、子どもの「前を見る力」や集中力を引き出すことができる。 ・ことば (動物の名前、お願いと承諾)・数・形・色の理解を促す教材にすることができる。 ・生活の音を楽しく表現することができる。 ・リラクゼーション・トレーニングとして、一つか二つの言葉の柔らかい繰り返し (ごしごし、しゅっしゅ、ぶくぶく) はリラックスにつながる。 ・お風呂に入っているイメージをすることで、体の力が抜けて、ゆっくりと深く呼吸をすることで、発展的で効果的なリラクゼーションになる。 ・子どもが自分の経験や自分の感情を明確にしたり、説明をしたり、話し合うための伝達手段として動物を使用することができる。
<p>保育の実際 (時間: 30分)</p>	 <p>テーマは「お風呂」①手遊び「お風呂にはいろいろ」②ボードシアター③絵本(もりのおふろ)④製作(画用紙のお風呂に入る/入れる遊びをしました。子どものイメージは「温泉」のようで、煙突・時計・お月様等を描き進めていました。</p>

おもちゃの種類	ひも通し
内容	ぞうきん縫い
<p>写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二重ガーゼ 雑巾 (約 30cm×15cm) ・はどめ (大・小) ・手芸用ひも通し (めじり型・平型) ・リボン 各色 1 m ・アップリケ 	
対象	2歳～6歳
割合	子ども 5～8名 対 おとな 1名
予定時間	2分～10分
遊びの理論的根拠	<p>ひも通し (ぞうきん縫い) を用いた活動は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの集中力を引き出すことができる。 ・効き手を「針」を操作する手、他方を「布」を支持する手として使い、両手の協応、操作性を高めることができる。 ・既製品のひも通し玩具と異なり、「ひも」を誘導する針があり、針先を定位置に向けて「上」「下」に操作することで、技巧性を高めることができる。 ・子どもが自分の経験や自分の感情を明確にしたり、説明をしたり、話し合うための伝達手段としてぞうきんを使用することができる。
<p>保育の実際</p> <p>絵本 かがくい ひろし作、 ぞうきんがけとぞうさん がけ、別冊「絵本」 綴じ込み付録</p>	<p>2月の感染症が流行する時期に、「ぞうきん」をテーマに保育を展開しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①手遊び (ラララぞうきん) ②紙芝居 (ぞうきんがけとぞうさんがけの拡大コピー) ③触れ合い遊び (ラララぞうきん) ④ぞうきん縫い ⑤自分のぞうきん作り(お絵描き) (ぞうきんは、2重ガーゼ生地で作りました)    <p>布に絵を描く時は、布をしっかりと押さえなくては描けません。紙に描く以上に、両手の操作が必要です。</p>